

令和6年度 国土技術政策総合研究所

技術提案評価審査会（全体会議）

（議事1） 令和6年度の実施結果

■ 令和7年3月

I 技術提案評価審査会規則(抜粋)

(審査会の事務)

第2条 審査会は、次の各号に掲げる事項について審議を行い、国土技術政策総合研究所長に対して意見を述べるものとする。

- 一 業務等におけるプロポーザル方式等の実施方針に関すること。
- 二 業務等におけるプロポーザル方式等の技術提案に共通する評価方法(評価方法、評価基準及び得点配分等)に関すること。
- 三 業務等の個別の評価方法に関すること。
- 四 業務等におけるプロポーザル方式等の技術提案の審査及び評価に関すること。

(個別審査会)

第7条 審査会に個別審査会を置き、第2条第三号及び第四号の事務を行う。

- 2 個別審査会は、審査会の委員2名以上により構成するものとし、個別業務等ごとに審議を依頼するものとする。
- 3 個別審査会は、個別の業務の発注行程に合わせ適宜開催する。
- 4 審査会は、個別審査会の審議をもって、審査会の審議とすることができる。
- 5 個別審査会の審議結果は、審査会へ報告する。

Ⅱ 技術提案評価審査会（個別審査会）の審議状況

1. 契約方式別審査件数

令和6年度2月末までに実施した技術提案評価は**210**件。
評価結果に係る競争参加者からの非特定理由の説明要求（令和6年度1月末時点）はなかった。

契約方式別の技術提案評価件数

		技術提案評価件数		割合	
		R6年度	(参考) R5年度	R6年度	(参考) R5年度
コンサルタント業務	プロポーザル	184	184	87.6%	86.5%
	総合評価	25	25	11.9%	11.7%
工事	総合評価	0	0	0.0%	0.0%
役務	企画競争	0	2	0.0%	0.9%
	総合評価	1	2	0.5%	0.9%
合計		210	213	100.0%	100.0%

※令和6年度2月末までの集計件数

Ⅱ 技術提案評価審査会（個別審査会）の審議状況

2. 個別審査会の開催数・審議件数

コンサルタント業務ほか**210**件のうち、恣意的にならないようルールを定めて機械的に抽出された**119**件の評価結果について個別審査会でご審議をいただいた結果、いずれも評価は妥当と確認いただいております、抽出して審議を実施した場合でも評価方法が適切であったと考えています。

個別審査会の審査会開催数・審査件数等

令和5年度

	審査会開催数	審査対象件数	審査件数	抽出率	委員数	平均開催時間	委員一人当たり	
							平均審査件数	平均審査会出席数
全体	43回	213件	115件	54%	17名	49分	13.5件	5.1回
建設・建築系	32回	174件	89件	51%	13名	52分	13.7件	4.9回
港湾空港系	11回	39件	26件	67%	4名	41分	13.0件	5.5回

令和6年度

	審査会開催数	審査対象件数	審査件数	抽出率	委員数	平均開催時間	委員一人当たり	
							平均審査件数	平均審査会出席数
全体	45回	210件	119件	57%	17名	52分	14.0件	5.3回
建設・建築系	34回	174件	91件	52%	13名	52分	14.0件	5.2回
港湾空港系	11回	36件	28件	78%	4名	55分	14.0件	5.5回

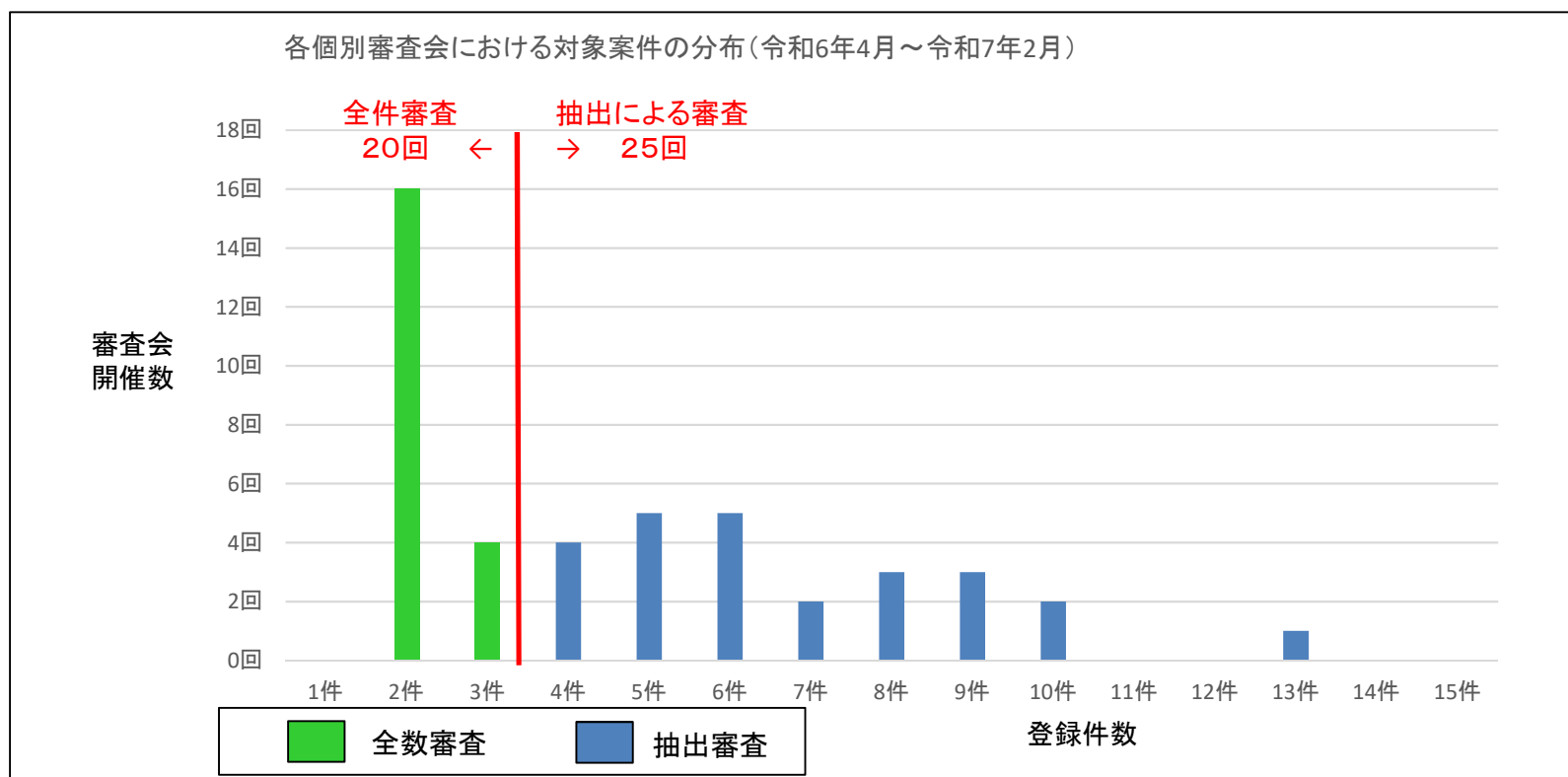
※令和6年度2月末までの集計件数

Ⅲ 技術提案評価審査会の改善について

1. 各個別審査会での抽出状況

○令和6年4月から令和7年2月までに開催した個別審査会(45回開催)のうち、
案件の抽出を行ったのは25回

➡ 56%の個別審査会において抽出を実施した。(45回中25回で抽出)
(令和5年度においては、43回開催のうち、案件抽出を行ったのが28回)



Ⅲ 技術提案評価審査会の改善について

1. 各個別審査会での抽出条件(令和5年度から継続)

前提条件

- ①当該審査会の案件が2部・センター以下の場合は各部・センターから1件以上抽出する。このとき、2課室以下の場合は各課室から1件以上、3課室以上の場合は3課室から1件ずつ、抽出する。
- ②当該審査会の案件が3部・センター以上の場合は3部・センターから1件ずつ抽出する。
- ③当該年度に審査を受けていない部・センターの案件を優先して抽出する。

選定条件

- 1) 前回までの審査会を受けた確率が低い課・室を優先して抽出する。
- 2) 審査会を受けた確率が同数の場合は、以下の順に抽出する。
 - ・参加者数の多い案件から抽出する。
 - ・参加者数が同数の場合は、業務規模※2の大きい案件から抽出する。
- 3) 部・センターの中から抽出する場合は、以下の順に抽出する。
 - ・参加者数の多い案件から抽出する。
 - ・参加者数が同数の場合は、業務規模の大きい案件から抽出する。
 - ・業務規模も同数の場合は、前回までで抽出案件の少ない課室から抽出する。

Ⅲ 技術提案評価審査会の改善について

2. 各個別審査会での抽出状況

○コンサルタント業務ほか210件のうち、抽出した119件についての状況
(抽出方法として特定の部署に偏らないよう機械的に抽出している。)

審査対象案件に対する審査を受けた割合は56%
➡ 部・センター別のばらつきも小さく、各部・センターの案件をほぼ均等に審査
横須賀案件については件数も少なく抽出案件も少ないことから割合が高くなっている。

個別審査会 部・センター別抽出状況 (令和6年4月から令和7年2月まで)

	上下水道 研究部	河川 研究部	土砂災害 研究部	道路交通 研究部	道路 構造物 研究部	建築 研究部	住宅 研究部	都市 研究部	社会資本 マネジメント 研究センター	管理部門 (総務・企 画)	つくば計	港湾・ 沿岸海洋 研究部	空港 研究部	港湾 情報化 支援センター	管理調整 部	横須賀計	合計
①累計対象 案件数	19	31	20	31	18	3	6	10	32	4	174	12	11	13	0	36	210
②審査を 受けた件数	9	15	12	16	8	2	5	6	16	2	91	11	11	6	0	28	119
③審査を 受けた割合 ②÷①	47%	48%	60%	52%	44%	67%	83%	60%	50%	50%	51%	92%	100%	46%	—	78%	56%

Ⅲ 技術提案評価審査会の改善について

3. 各個別審査会の開催状況

○個別審査会1回当たりの審議件数の上限を3件とし、1時間で終わるように設定している。

➡R5と比較すると各審査案件について、大きな変化はなく、引き続き十分な審議時間が確保されていると考えている。

